

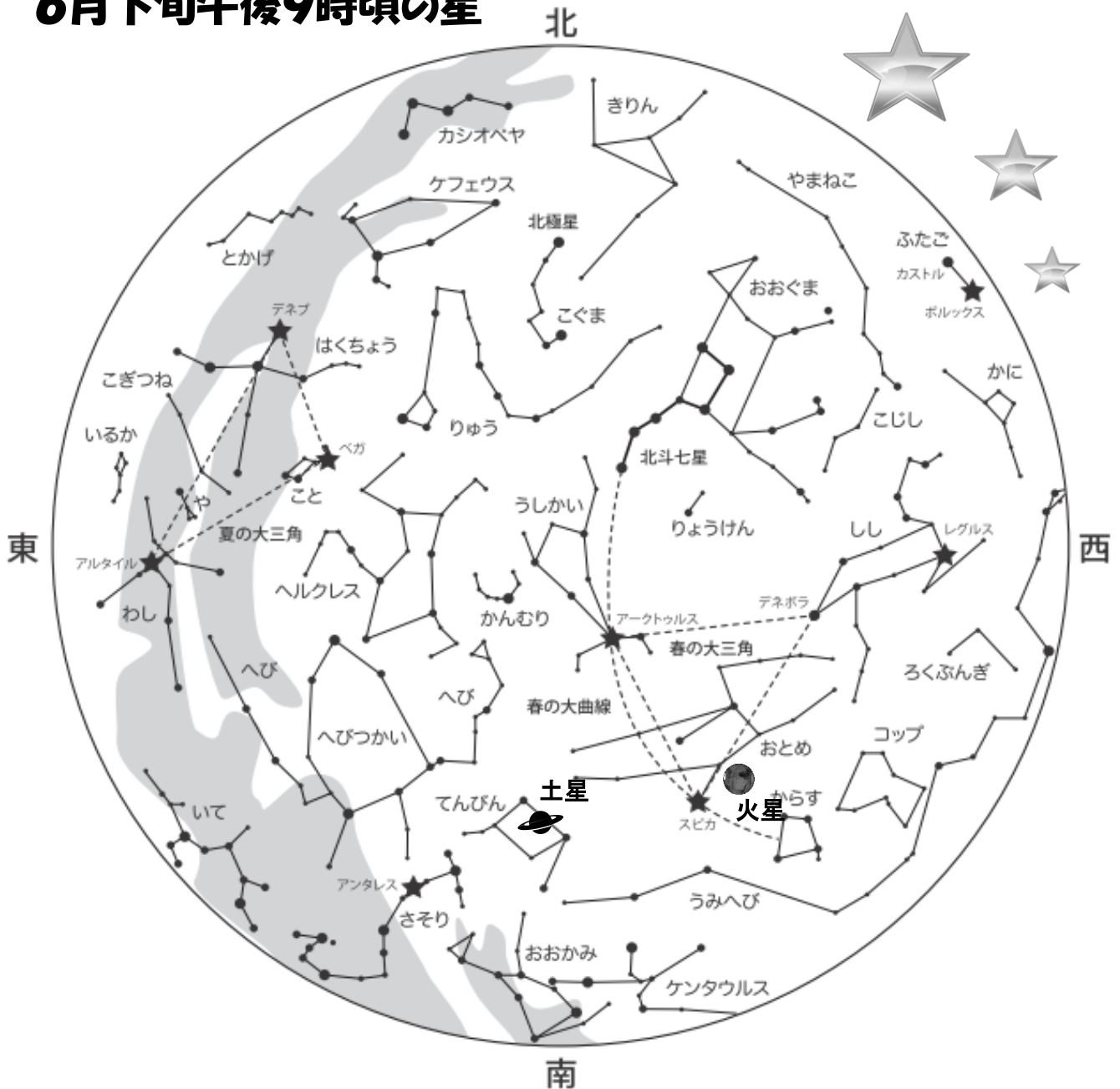
松江市立天文台～6月の天文教室～

2014年6月18日

夏至のころ・・・最も夜が短い季節で、夜は8時過ぎでも明るさが残り、朝は3時過ぎから空が白み始めます。

短い夜ですが、梅雨の晴れ間に春から夏に変わる星座を、ホテルと一緒に見るのもいいかも知れません。

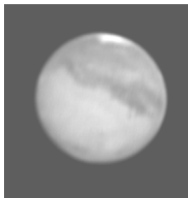
6月下旬午後9時頃の星



6月下旬の午後9時頃の星空です。

火星と土星の位置は6月18日のものですが、実際のみかけの大きさとは異なります。

星座を探すには、見たい方角を向き星空の図の方角を下にします。たとえば、東の方角を向いて、図の東を下にして見ると探しやすくなります。



★火星

地球のすぐ外側を回る惑星で、約2年2か月ごとに地球に接近します。今年4月に地球に接近しましたが、今は徐々に地球から離れつつあります。

鮮やかな赤い色が印象的な惑星で、接近時は表面の模様も見るすることができます。

★土星

土星は、美しい環をもつことで有名な惑星で、小型の天体望遠鏡でも、その姿を観察できます。

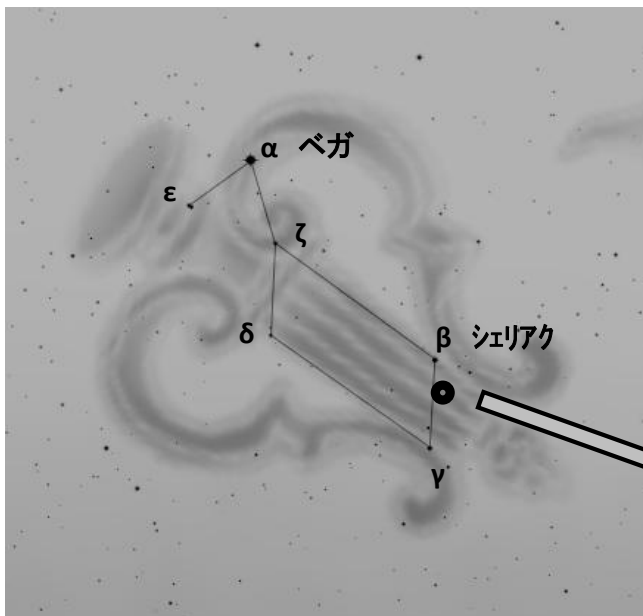
環の正体は、数cmから数十mの氷や岩の粒子で、その厚さは数百mから数kmと非常に薄いものです。

また、衛星タイタンには、太陽系内の衛星で唯一、窒素を主成分とする「大気」が確認されています。



※天体望遠鏡の構造や設定で、上下左右がさかさまに見えることがあります。

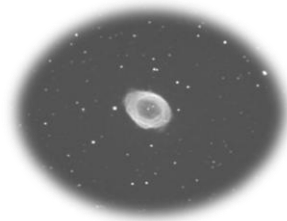
★こと座



こと座は大きな星座ではありませんが、明るい星が多いのと、形が整っているため、古くから知られた星座で、ギリシャ神話ではたて琴の名手オルフェウスの琴とされています。

α(アルファ)星のペガは、七夕の「織姫星」として良く知られています。

惑星状星団 M57



こと座の二重星

- こと座を形づくる星には多くの二重星があります。
- ・ε(イプシロン) は肉眼でも分かる二重星で、望遠鏡で見ると、それぞれが二つに分かれる多重星
- ・δ(デルタ)も肉眼で分かる二重星
- ・β(ベータ)、ζ(ゼータ)は双眼鏡で見ると二つの星が観察できます。

M57は星の光で、周りのガスが光って見えている星雲です。その形からリング星雲、ドーナツ星雲とも呼ばれています。

けむりのような輪が宇宙に浮かぶ光景は不思議な感覚です。

夏休み天文教室のお知らせ

開催日 7月30日(水)・31日(木)

時間はいずれも、20時から21時まで

(受付19時30分から市役所正面玄関で行います。)

事前の予約は不要です。

